

宮古島意見広告への協力を求める趣意書

2020年3月中に、陸上自衛隊ミサイル部隊（計800名とも）が宮古島に配備される予定になっています。地対空、地対艦ミサイル本体と共に、千代田駐屯地に配備されれば、宮古島はいよいよ軍事基地の島としての機能を持つこととなります。有事には攻撃対象となるだけでなく、平時にも弾薬庫の事故や、訓練による不測の事態に直面する危険性が高まります。基地から排出される有害物質によって、地下水の汚染も懸念されます。大勢の部隊員の流入により、文化や慣習など生活上の変化ももたらされることになるでしょう。

この深刻な状況を広く市民に訴え、関心を高めるために、新聞一面全面の紙面に意見広告を載せることを企画していますが、約100万円の費用が見込まれています。

県外の団体から、援助の申し出をいただいておりますが、まだまだ、不足しています。

どうぞ、趣旨にご理解の上、資金集約にご協力をお願いいたします。

2020年3月吉日

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会

代表 仲里成繁

事務局 清水 090-9784-1545

宗教者・市民の皆様

1月23日の毎月の「平和をつくり出す宗教者ネット」（以下略称「宗教者ネット」）国会院内集会で「ミサイル基地いらない宮古島連絡会」（以下略称「連絡会」）の清水早子さんの講演会が行われました。そのさい宮古島がおかれている苦しい現状を知り、なんとか宮古島の基地反対運動への激励・連帯になればと思い、「宗教者ネット」として、新聞一面を使った「宮古島意見広告運動」を提起いたしました。

「連絡会」の皆様とも連携し、なんとか3月中に地元紙に掲載できるよう宗教者・市民の皆様の積極的なご賛同・ご協力をお願いする次第です。

ご存知のように、宮古島は昔から、沖縄差別・離島差別の二重苦で苦しみ続け、さらに現在においても、小さな島中に自衛隊基地・軍事施設を押しつけられようとしています。特に「命の水」を確保していくことは、島に暮らす人たちの死活問題にもなっております。

宮古島をこれ以上孤立させないため、宗教者・市民の皆様の「宮古島意見広告運動」への激励・連帯のご意志をお示し頂ければ幸いです。

☆ 郵便振替口座 00130-0-136372 「宗教者ネット」

（備考欄に「宮古島」と明記する。領収書の必要な方は「必要」とお書きください。）

平和をつくり出す宗教者ネット

〒150-0045 渋谷区神泉町8-7 電話 090-1853-1446（武田） FAX 03-3461-9367 nqh10948@nifty.com

裏面に去る1月19日国会前における「連絡会」の清水早子さんの訴え文があります。

2020年1月19日国会前総がかり行動参加者へのアピール

東京の皆さん、ここにお集りの日本各地からの皆さん、こんにちは。
私は、東京から2000キロ南に位置する沖縄県宮古島からまいりました。
このサンゴ礁の島を観光で訪れた方々もここにいらっしゃるかもしれません。
しかし、鹿児島から南へ伸びる南西諸島の島々では、今、戦争の準備が進められているので
す。そう、戦争の準備です！

種子島の西側にある馬毛島は160億円で買収され、米軍と自衛隊が共同使用する基地にされ
ようとしています。

奄美大島では昨年3月にミサイル部隊を含む600名の陸上自衛隊が配備され、山の中には巨
大な弾薬庫や兵站基地が作られています。

沖縄島では辺野古の米軍新基地建設強行と共に、陸上自衛隊第15旅団が3000名規模になろ
うとしています。

宮古島には昨年3月配備された380名の警備部隊にさらにミサイル部隊が今年3月までに配
備予定で、合わせて800名になろうとしています

石垣島でも基地建設工事が始まっており、日本の最西端の与那国島では2016年にすでに200
名の部隊が配備されています。

これまでなかった基地ができるということは、これらの島々の集落のそばに弾薬庫が作られ、
ミサイル弾、銃弾が保管され、民家の近くで射撃訓練が行われ、軍事車両が島中を走り周り、
戦闘服の隊員が島を闊歩し、これまでの島の平穏な生活が蹂躪されることなのです。いつ落
ちるかかわからないオスプレイが民家の上を飛び、海水浴場にいきなり水陸両用戦闘車が上陸
することなのです。

戦争の空気が、島々の日常の中に立ち現れています。

南西諸島の軍事要塞列島化は何を生み出すのでしょうか？

それはやがて北上し、皆さんのこの本土に戦争が忍び寄るのです。

今日、1月19日は60年前安保条約に署名された日です。ホワイトハウスで、アメリカのアイ
ゼンハワー大統領と日本の「A級戦犯」だった岸信介首相、あの安倍晋三のオジイである
岸によってです。

戦後75年と言っても、沖縄戦での不発弾を全て処理するのにあと70年かかると言われてい
ます。沖縄では、まだ戦争は終わっていないと言えるのに、岸の孫である安倍晋三は再び戦
争を始めようとしています。

宮古島が次の戦争の戦場にされようとしています。

福島の200万県民を打ち棄てた安倍政権は、今また、南西諸島約200万住民も犠牲にしよ
うとしています。

オリンピックの陰で進行している、日米の軍事政策に目を向けてください！

南西諸島の、琉球弧の島々の島民は、戦場になることも、出撃基地になることも拒否します！

安倍政権を倒さねばなりません！忍び寄る戦争を止めなければなりません！

共に闘いましょう！

ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会 清水早子